

2. 中心市街地活性化のテーマ

こんな街に暮らしてみたい、こんな街を訪れてみたい、みなさんの期待を中心市街地活性化のテーマとして表現してみました。

中心市街地活性化のテーマ

～海とみどり、ふれあいの生活文化を育む中心拠点～



中心市街地の活性化にあたって、大切にしたい4つの視点

多くの人々が集う
「賑わいの場」づくり

市民の暮らしを支える生活インフラとしての商業機能の活性化

個性的で魅力のある
「茅ヶ崎市の顔」づくり

市民の愛着や誇りを高める茅ヶ崎文化・らしさの熟成・発信

多様なふれあいを支える
「交流基盤」づくり

人間尊重を基本としたふれあいの場・ネットワークの形成

来街者をもてなす
「人に優しい環境」づくり

全ての人々の利用・参加を可能とするユニバーサルデザインの実践

中心市街地のまちな姿

「中心市街地の暮らす人々」からみた姿とは・・・

地域の人々が、茅ヶ崎を代表する海と緑にふれあいながら育んできた茅ヶ崎らしい生活文化に愛着や誇りをもちながら、日常の暮らし(住まう、商う、学ぶ、憩う等)を満身に営むことができるとともに、住民や商店街等からなる地域コミュニティ・ふれあい活動を今後とも維持し続けることができるまち

「中心市街地に訪れる人々」からみた姿とは・・・

中心市街地の周辺(市内や近郊の都市)に暮らす人々、さらには広域の人々が、茅ヶ崎らしいいうおいとゆとりのある海と緑の生活文化に魅力を感じ、集い、ふれあうことができるまち

「中心市街地の空間」の姿とは・・・

中心市街地の求心力を高めるとともに、様々な活動を活力あるものとする魅力的なふれあい拠点(商業拠点、情報・新産業拠点、行政・文化・福祉・コミュニティ・教育拠点、みどり拠点等)を、相互の連携に配慮しながら配置・整備します。

JR茅ヶ崎駅周辺において、各種のふれあい拠点の集積化により都心部の形成を図るとともに、都心部内部における回遊性を創出します。

中心市街地内は、徒歩・自転車・公共交通による移動を基本とし、JR茅ヶ崎駅周辺・都心部への円滑なアクセスと、都心部周辺部に配置されるふれあい拠点を連携する放射型のふれあい軸(アクセス軸、景観軸、商業活性化軸等)のネットワーク化を図ります。

茅ヶ崎らしい生活文化とは:

- ・ 茅ヶ崎文化・らしさを代表する環境資源である湘南の「海」と北部丘陵等の「緑」、これらの豊かな自然環境とふれあいながら育んできた、うらおいとゆとりのあるライフスタイル

魅力とは:

- ・ 中心市街地周辺の人々にとっては、様々な選択が可能な海と緑の生活文化関連の商品や情報を入手することができ、また、飲食や娯楽、コミュニティ活動等が楽しめる場(主に週末レクリエーションに対応したもの)が整っていること。
- ・ 広域の人々にとっては、茅ヶ崎らしい海と緑の生活文化に根ざした特色ある環境・景観のまちづくり(主に観光レクリエーションに対応したもの)が進められていること。

